

平成 19 年度成果展開事業の採択内容

	研究開発件名・企業名・所在地	原子力機構の特許	開発の概要
1	生分解性樹脂の改質による 汎用ブロー容器とキャップの研究開発 株式会社日本興産 (埼玉県羽生市)	生分解性を有する耐熱性架橋物 および該耐熱性架橋物の製造方法 (住友電工ファインポリマー(株)、 高崎量子応用研究所) 特開 2005-126605	現在の生分解性樹脂は「ブロー容器」の分野では全く使用されていない。生分解性樹脂を機構の特許を利用することで耐熱性等を改質し、使用可能な生分解性「ブロー容器」および「キャップ」の開発を行う。
2	擬似路面凍結予測装置の開発 山田技研株式会社 (福井県福井市)	ニューラルネットワーク駆動型ファ ジィ制御法 動燃技報 93-10 発行 1995.3	路面凍結現象を路面上における各種物性値を測定することによって、凍結予測を行う装置を開発する。センサーの擬似路面から得られる各種物性値をもとに正確に予測をすることが必要であり、それに原子力機構のファジィ制御技術を利用して開発を行う。
3	密閉系及び開放系冷却設備等循環水型設備 における水質改善装置の実用化 株式会社第一テクノ (群馬県前橋市)	グラフト重合法によるリン酸基型捕 集材の合成方法 特開 2004-99715	冷却塔などの循環水は金属スケールや腐食による赤錆が発生する。これに放射線グラフト重合技術を主体とした処理を行うことで、これらの原因となる腐食防止のための水質改善装置を開発する。
4	プラスチック樹脂、廃プラ樹脂改質と商品化 株式会社ミヤゲン (福井県敦賀市)	改質ポリプロピレンを製造する方法 および成形品 (チッソ(株)、高崎量子応用研究所) 特許 3171422	廃プラスチックの再利用のために、廃プラ樹脂の改善と商品化に向けて、放射線(電子線、ガンマ線)を材料に照射して開発を行う。
5	遠隔操作用走行ブリッジの作動及び遠隔解体 シミュレーターソフトウェアの開発 株式会社スリーディー (神奈川県横浜市)	遠隔走行ブリッジ 特許 3059139 遠隔操作用走行ブリッジの移動方 法とその移動治具 特許 3059140	平成 17 年度の成果展開事業の成果をベースに、本特許を利用して仮想的に操作性の検討が行えるようコンピュータグラフィックスによるシミュレーションが可能なシステムを構築する。
6	放射線照射技術を応用した新規不燃材の開発 株式会社アサノ環境総合研究所 (福井県坂井市)	橋かけ生分解性材料の製造方法 特許 3759067	特殊処理を施した不燃木材により、耐久性に優れ、外装建築資材等、多用途に使える不燃木材を開発する。